

科目名:理容実習 サロン実習ⅠⅡⅢ 科目コード:H170 H171 H179

単位名:理容科 ヘアデザイン ブライダルシェービングエステ

2単位(60単位時間)

開講時期:1学年(後期) 2学年(前期・後期)

担当教員:長瀬達雅 真吉一己 福本雅彦

●科目授業の目的と学生の達成目標:

単に技術の施術の順番だけではなく、お客様に施術内容の解説・説明できるスキルを習得する。
また担当や料金・支払いまで運営面を自分達で考え進めていく事により実践形式で美容室経営を学ぶことができる。
達成目標はお客様に対して接客意識を向上させ、スムーズな応対が出来るようになること。
実習サロンで日々の訓練や習得レベルを確認できる。
次の取り組みに自分から気付き、クラス授業への意欲と繋がる事ができる。

●成績評価の方法:

前期・後期のそれぞれで、サロン実習時の服装・身だしなみ・接客・技術面などの内容を点数化する。
毎回のサロン日誌の提出や理解度を点数化する。
朝礼や終礼時、または営業時間を利用し、出来ていない所や理解不足な内容を毎回確認する。
メニュー内容の施術方法をその都度解説し実践で教える。

●教材・ならびに教育方法:

サロン営業全般(シャンプー・コンディショナー・トリートメント・カラー剤・パーマ剤・その他用材全般)
お客様によって髪質・毛量・ヘアスタイルをカウンセリングし手順を進めながらデモンストレーションを行い仕上げていく。

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等:

インターシップ(店舗研修)の充実

●この科目の今後の展開

マニュアルやテキストの充実化・各クラス担任及び担当教員の理解度の統一
基礎技術のレベルアップ・接客面のトレーニング強化
卒業後のサロンワークでの活躍・実践力を強化する

●備考

回	時	テーマ:授業内容・授業方法	実務経
---	---	---------------	-----

	限		駿のあ る教員
1	2	サロン実習前の事前施設説明・マニュアル・サロン日誌・レジ電話対応・掃除・開催時間を説明。各クラスにサロンを使い説明する	
2	4	2年生と一緒に担当を決めサロン実習内容を覚える。準備物の用意・片付け・ヘルプなどに入り仕事を覚える。朝礼・終礼時の時間を有効に使う	
3	4	カット後のお流し、ハンドマッサージなどできる技術に入る。 相モデルにてレッスン。	
4	4	パーマ・カット前の1シャンプー ブローのシャンプーやドライなどや2年と一緒にワインディング、カラーの塗布をバックから担当する。タオル・クロス・保護クリーム・イヤークャップなどの説明、レッスン。	
5	4	カット、ブロー、ヘッドスパなど全てのメニューの準備・手順・片付けをきちんと理解させ施術する。相モデルにてシャンプー・スパのレッスンを行う	
6	4	カウンセリングから仕上げまで2年生と協力しながら担当する。 必ず教員に確認し理解度を深める。言葉使い・カルテ記入の強化	
7	4	1年のみ運営。来店時のご案内や接客面の強化。技術面は理論に基づいた基礎を学ぶ。 特にヘルプや他の人への気付きを深める。セット面やシャンプー台の使用。 スタッフ間の声掛けの強化	
8	4	サロン運営は担当を自分達で決め進行する。全体の流れやコミュニケーション力を習得する。店長・チーフなどリーダーのレベルアップをする事により全体のレベルを上げる。	
9	2	1年で学んだ接客・技術内容の確認。準備物・手順の時間短縮・レベルを上げる。 基礎技術・接客(笑顔・言葉使い)の確認	
10	4	インターンシップ(店舗研修)を行うまでに実際のお客様を担当し理解不足を改善する。お客様終了後、相モデルにてレッスン。応用技術の確認	
11	4	1年生と一緒に担当する事により意識を高める。自分自身の課題も発見し強化できる。お客様終了後、相モデルにてレッスン。準備物・手順確認	
12	4	接客面の強化。技術内容のレッスン取り組みの強化。 お客様終了後、相モデルにてレッスン。接客(声掛け)確認	
13	4	お客様一人一人によって違う髪質・毛量・ヘアスタイルなどトータルで考えた施術内容を理解する。お客様終了後、相モデルにてレッスン	
14	4	1年生のサポートをする。技術チェックや出来ない所の説明をきちんとできるスキルを取得する。理論を説明し実践する。時間を意識する	
15	4	基礎技術の復習。就職サロンへのインターンシップ(店舗研修) 基礎技術のレベルアップ。応用面の強化	
16	4	サロンでお役に立てる知識・技術力を実践形式で行う。お客様に信頼して頂き満足して頂く。一人のお客様を最後まで仕上げる	